

全スタッフが有資格者 教育体制 充実

ヒューマンライフケア（東京都新宿区）が千葉県市川市で運営する「ヒューマンライフケアグループホーム市川」（定員18人）ではスタッフが入居者に主体的にかかわり、認知症ケアに取り組み、コスト面の見直しにも力を入れ、水道料金を大きく削減するなど効率的な施設運営を実現させている。



ヒューマンライフケアグループホーム市川 堀田 孝子 長

ら介護や認知症ケアに関する意識の強いスタッフが揃っており、一人ひとりの経験の豊富さやスキルの高さを強みとする。また、同社は社内に教育機関「ヒューマンライフアカデミー」を持つことで、無資格者でも仕

2013年にヒューマンライフケアが事業承継した2008年開設の施設は、自宅で親の介護を経験したなどの理由か



▲「グループホーム市川」の外観

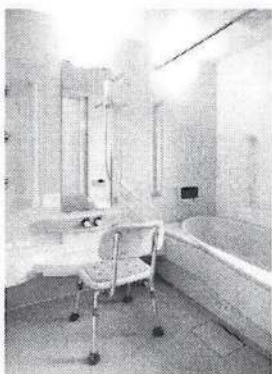
する。各種資格の取得に際しての受講割引も行うなど、意識の高いスタッフがスキルアップを図りやすい体制を敷く。実際に同施設で働く14人の介護スタッフも全

員介護福祉士やヘルパー1〜2級の有資格者。正しい知識と経験を有するスタッフが配置することが入居者・家族の安心にも繋がっている。

無駄遣いなく、サービス面は充実していたが、一方で施設内にいたが、一方で施設内に

水道代 大幅削減

おける物品や電気・水道などの無駄使いが散見された。施設運営を続けていくためには、スタッフ一人ひとりのコストに対する意識も重要だと堀田孝子ホーム長が中心となり改革を実施。「洗剤がすぐになくなる、電気の消し忘れ、夏でも乾燥機で洗濯物を乾かすなどの無駄をなくそう」とした



▶シャワーなどの噴出量を見直すことで水道料金の大幅削減に繋がった



▲知識や技術、経験の高いスタッフがサービスを提供する

の水量調節（無料）を施すなど、館内全36カ所の蛇口の内、21カ所を見直した。費用を要したものは節水バルブを導入した6カ所（9万円）のみだが、昨年5月末の導入から半年間で、一昨年の同時期に比べ13万3000円を削減、年間26万円以上のペ